

みんなの安全が当たり前

住吉英里

私はストーカー行為がない社会を作りたいです。ストーカー行為が違法でいけないことだと知っていますがそれを無視し、残念ながらストーカーを続ける人がいます。そこで、私の経験からなぜストーカー行為が許されるべきでないか、そして、そこからどうやってこの対立と超えて向き合えたか説明します。

ストーカー被害にあったのは小学生の時でした。ちょうどその日は雨で電車通学してた時、私は祖母と祖父に車で向かいにきてもらうため駅の改札の近くで待ってました。雨のせいで車渋滞に巻き込まれた祖母と祖父は早くつかなさそうだったので、何十分も待つような状況でした。ぼーっと待つ私に「学校の帰り？」と聞いてきた中年のおじさんが近くにきました。仕方なく質問に答えてましたが正直彼に違和感を持ちました。なぜ知らない男性に話しかけられたか分からず戸惑っているとまたおじさんは私に質問しました。また私は答え疲れてたので彼に話してほしくなくその場から離れました。違うところへ移動したのになぜかそのおじさんは横にいました。また何か聞かれる前に幼い私は何も考えず「話しかけないでください」といいまた違うところへ行こうとしました。移動している時私は窓の反射を見たらそのおじさんはついてきてると気づきました。焦った私は早歩きで移動し始めましたがそのおじさんも同じペースで後ろについてきました。何度も違うところへ行ってもついてこられたのでもっと私は焦り祖母へ電話しました。状況に気づいた祖母は渋滞で巻き込んでる車を祖父に任せ、駅まで走って迎えにきてくれました。祖母と会った時安心感に包まれました。祖母と出会った私に気づいたストーカーはそこから逃げようとしたのですが先に駅員に言ったくれた祖母のおかげでなんとかそのおじさんは駅員により捕まりました。すぐに帰っていいと言ってくれた駅員に感謝し駅に到着した祖父と合流し無事に家へ帰れました。

このようなことがあり私はストーカーの対応の仕方や対策を調べたり家族に教えてもらい今は万が一ストーカー行為をまたされたら対処法は知っていますが、昔の私みたいに何をすれば分からなくて自分を守れなかった人はいっぱいいます。

ストーカー行為してる人は気になる人を付きまとって何が悪いと思うかもしれませんが、相手は嫌がってることが多いです。それでうつ病になったり、監禁されたり、殺される人もいます。

人に付きまとうことは非常識であり、相手のプライバシーの侵害をしています。ストーカー行為を行ってる人は個人の考えだけで動いて相手の意見を考えてないことが多いです。それにより、相手を傷つけることがあります。

ストーカー行為は許されないことでありますが、残念ながらストーカーされる人はいます。なので私はみんなの安全が当たり前の社会を作りたいです。(1153)